

年下にキモイ、臭い、ウザイと思われる4つの理由

蓮獅子

【推奨環境】

このレポート上に書かれているURL はクリックできます。
できない場合は最新のAdobeReader をダウンロードし
てください。（無料）

<http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep2.html>

著作権について

本書は著作権法で

保護されている著作物にあたります。本冊子の取扱に
ついては以下の点にご注意下さい。

本冊子の著作権は発行者である蓮獅子(れんじし)に属しま
す。発行者の事前許可なく本冊子の一部、または全てを
印刷物、電子ファイル、テープレコーダ、ビデオ、
CD、DVD、WEBサイトのあらゆるデータ蓄積
手段により、複製、流用、転載、転売（オークショ
ンを含む）などすることを禁止いたします。

このような行為が発覚した場合は法的手段を取らざるを得
ませんのでご了承下さい。

目次

はじめに

価値観の相違

横暴な態度

意識レベル

生き様

はじめに

あなたは自ら恋愛の幅を縮めてはいませんか？

男性は自分より年上の女性に対して、つき合ったり、結婚したりすることに少し抵抗を感じるかもしれませんが、女性という生き物は、真逆で年上で自分のことをしっかりと守ってくれる男性に強く引かれる傾向にあります。

中には年上女性、年下男性と付き合ったり結婚したりする人もいますが、その理由には

「年上でしっかりしているけど、可愛いところがある」

「年下なのに意外としっかりしてて引っ張ってくれる」

というようにどちらかというとなり男性上位的な理由が並べられます。

結局のところ男は常に優位でありたい、

女は常に誰かに頼りたいという人間の本能の上に成り立っています。

この結果から見て年上の男性というのは年下の女性から見て

有利であるにも関わらず、キモイ、臭い、ウザいと煙たがられる男性がま

だまだ多いのは何故でしょうか？

このレポートではそんな年上男性がキモイと思われる理由について解説していきます。

もし、あなたが30代以上ならば心して聞いてください。

多少キツイ言葉も出てきますし、あなたのプライドを傷つけるかもしれませんが、年下の女の子に憧れられる男性になりたいければここはグッと大人の寛大な心で聞いていただければ幸いです。

価値観の相違

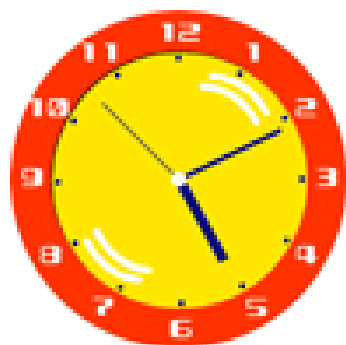
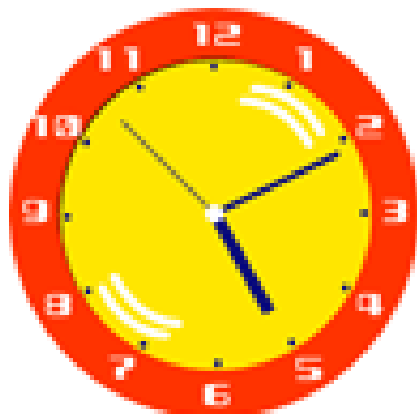
まずあなたに質問です。

YES、NOでお答えください。

**ひと回り離れた年の女の子と付き合うには価値観を合わせなければ
いけない。**

年下にキモイ、臭い、ウザイと思われる4つの理由

素直に考えてみてくださいね。



YESと答えた方。

本当にそう思っているのですか？

だとしたら、あなたは大きな間違いを犯しています。

NOと答えた方、

あなたは概ね間違っていないです。

その意識は大切にしてください。

では少し解説していきます。

「価値観」

恋愛ではよく出てくる言葉ですね。

「あなたとは価値観が合わないから付き合えないわ」

「あなたとは価値観が合うから一緒にいて楽だわ」

このように付き合うとき、別れるときによく出てくる言葉です。

そもそも価値観とはなんですか？

ウィキペディアより引用

価値観(かちかん)とは、何が大事で何が大事でないかという判断、ものごとの優先順位づけ、ものごとの重み付けの体系のこと。

そもそも何が大事とか、それはその人の今まで生きてきた経緯によって全く異なります。趣味趣向も違って当然ですし、同一人物でもその時の年齢によって価値観は変わってゆくものです。

今まで生きてきた中で私は、価値観が同じ恋人同士というものに出会ったことはありませんし、価値観が同じだという理由で付き合う男女を認めようとも思いません。

そして価値観がどうかという女も大嫌いです(笑)

同年代の男女ですら価値観が同じだということはありません。

もちろん、年が離れていた場合は生きてきた年数も違うし、環境も違う、ましてや流行のものも違うので価値観が違うのは当たり前なのです。

価値観が同じということを利用していいのは
会社などの組織や宗教などで同じ目標に向かって何かを達成するための
運命共同体ともいえる場合においてだけです。

なぜならこういう場合においては、価値観が同じ、もしくは似ていると
互いの行動が理解しやすかったり共同作業がしやすくなるからです。

恋愛における価値観とは同じ価値観を求め合うのではなく、
互いの価値観を「認め合う」ということが正しい使い方といえるのです。

あなたは年が離れているからといって、女の子の価値観を認めようとしなかったことはないですか？

「なんでそんなに爪伸ばしてるの？」

「なんでそんなに眉毛が細いの？」

「なんでそんなうるさい歌が聴けるの？」

「なんでスカートの下にスパッツはくの？」

このように思っているのは価値観を認め合うということは出来ません。

ちょっと立場を変えて考えてみましょうか。

あなたがずっと年下だった場合です。

「なんでそんな太いズボン穿いてるの？」

「なんでそんな学制服の裏に刺繍があるの？」

「なんでおでこの両脇剃ってるの？」

「なんで肩パッド入れてるの？」

ちょっと年代が下がりすぎましたが(; - A

当然のごとく、このような疑問が大人からぶつけられていたはずで

そしてそれに反発してきたはずで

要するにあなたも通ってきた道です。違うのは時代だけ。

表現の仕方が変わっただけで、他は何も変わってないのです。

あなたも相手の年だった時のことは思い出してみてください。

今ではとてもじゃないけど出来ないことをしてきたのです。

あなたの時代とは表現が変わっただけで、やっていることは全く同じなの
です。

このようにその時の自分はどうか？を考えながら相手の今の価値
感というものを認めてあげてください。

ここまで言えば、あなたも相手が反発することくらいは予想できるはずで
す。

そしてあなたが認めてあげるといことは同時にあなたの価値観も押し
付けないということになりますのでこの部分はよく理解しておいてくださ
い。

そして価値観が違うのは当たり前だと思ふこと。

いちいち相手の価値感に驚いていてはなんの進展はありません。

まずは**認めること**。それが重要です。

横暴な態度

これは、よくドラマなんかで厳格な父親が娘に対して親が敷いたレールの上を歩かせようとする話。

よくありますよね。

これに対して娘は決まって親に反発し、しまいには家出をしてしまう。お決まりのパターンです。

これは恋愛でも同じようなことが言えます。

やはり年上だからって横暴な態度は嫌われる元です。

相手を馬鹿にしたような発言

相手を子供扱いする

相手が間違っていると決めつける

これではお互い歩み寄れるはずがありません。

あなたは年上だから、間違っていないと思うのかもしれませんが、そもそもそれが間違いなのです。

さっきも言いましたよね？

価値観は違うのは当たり前だと。

最初から決めつけるのではなく、相手の言い分をしっかりと聞いてあげることが大切です。

たとえ相手が間違っていたとしてもその理由を明確にしてあげ、2人が納得できるようにもって行くのもあなたの務めです。

ひとつ注意点として、恋愛でもなんでも

男は物事になんでも白黒つけたがりますが、女の子は灰色決着でもいい場合があります。

どうしてもあなた自身が納得できないのであれば寛大な心で灰色決着を選択したほうがよいことも覚えておいてください。

意識レベル

さて、これに該当する方はけっこういるんじゃないでしょうか？

どうせ、こんなおっさんには興味ないだろう

こんなおっさんを好きになるわけがない

すでに避けられている

そもそも年の離れた女の子というのはあなたに対して壁を持っています。

その壁というのが、

説教くさいんじゃないだろうか？

同年代の男にやきもちを焼くんじゃないだろうか？

そもそもこんなおっさんと付き合って面白いんだらうか？

束縛されるんじゃないだろうか？

こういうことです。

よっぽど年上好きでない限り、女性はこう思うのが自然です。

しかし、この壁を崩すということはあなたにとって非常に困難かもしれませんが、それでもこの壁を崩さないことにはその先はないのです。

今まで生きてきた知識、経験、プライドを捨ててかからないといけないのです。

そもそも今までモテなかったおっさんにプライドもクソもないと思いますが、念のため言っておきます。

どうせ「こんなおっさんには興味ないだろう」という意識レベルから
「女と付き合うのに年齢なんか関係ない」という意識レベルに
頭の中をごっそり変換する努力をしてください。

その努力をしたものだけが、いくら歳をとっても若い男にも負けない
モテマインドが身につくのです。

そして

説教くさいんじゃないだろうか？

同年代の男にやきもちを焼くんじゃないだろうか？

そもそもこんなおっさんと付き合っただ面白くないだろうか？

束縛されるんじゃないだろうか？

というマイナスイメージから

私みたいなガキに興味ないだろうな・・・

さんから見たらすごく子供なんだろうな・・・

一緒にいて疲れるんじゃないだろうか・・・

こんな年下でもいいのかな・・・

という憧れの存在になることが出来るのです。

意識というのは言葉、態度に表れます。

あなたが弱気な意識でいると女の子はそれを敏感に感じ取ります。

それが同年代なら頼りないで済みますが、年が離れていると、キモイという言葉になるのです。

女の子は本当は本能的に年上の頼れる男性を求めています。

あなたがキモイと言われるのは、

あなたが、女の子が本当に求めている男性像になってほしい
というメッセージの裏返しであるということを肝に銘じておいてください。

生き様

あなたはモテないからといって、
何事においてもやる気をなくしていませんか？

やる気をなくしていないとしても、日々、なんとなく目標も夢もなく生きてい
ませんか？

ただ惰性で生きているようなそんな生活を送っていませんか？

女性が男性を好きになる要素のひとつとして、
夢や目標を持って仕事をバリバリこなしていることが挙げられます。

これは年下女に限らずどんな女性もこんな男性に惹かれます。

やる気のなさ、覇気のなさはすぐに女性に伝わります。

それが年下の女性なら尚更です。

すぐに目標や夢を持ってください。

目標や夢に向かってバリバリ働いている人はそれだけでもおおきな魅力となるんです。

こんなクサイ事は言いたくなかったんですが、あまりにもモテないと嘆いている男性に限って、そこにこだわるあまり仕事に対しての覇気が足りないような気がします。

こういふことを言うと、必ず出てくるのが

「目標や夢なんていきなり言われても・・・」

という言葉です。

いい加減にしてください!!

今、目標や夢がないんだったら今の仕事をがむしゃらにこなせばいいんです。そうすることで新たな目標や夢が見えてきます。

たとえ「給料を上げたい」でもいいんです。

それが達成された時、次の目標を見つければいいんです。

そしてその先に必ず夢が現れます。

これにはもう歳なんて関係ありません。

どんなにあなたがダサくてもおやじ臭くても

努力さえ続けていけば、それは男としての大きな魅力となるのです。

がむしゃらに頑張っている男は年齢に関係なく「素敵な男」なんです。

その「素敵な男」になるために今の現状に満足せずにながむしゃらに頑張ってみてください。

がむしゃらに頑張ってる男に対してキモイ、臭い、ウザいなどと言う女はこっちから願い下げです!!

言いたい放題言って申し訳ありませんでした m(_ _)m

本当はあなたがどんな女性からも「憧れの存在」となることを願っていますので、お許してください。

最後まで我慢して読んでいただき本当にありがとうございました。

info@renjishi.biz

蓮獅子